

平成 25 年度消防団員等公務災害補償の概要

(災害補償課)

平成 25 年度における損害補償費及び福祉事業費の支払件数及び支払額について、その概要を紹介します。

1 平成 25 年度における損害補償費等支払状況

平成 25 年度の損害補償費の支払件数は 2,438 件で前年度に比べて 175 件 (6.7%) 減少し、支払額は 1,833,958 千円で同 169,227 千円 (8.4%) 減少しています。

また、福祉事業費の支払件数は 1,024 件で前年度に比べて 24 件 (2.3%) 減少し、支払額は 488,266 千円で同 263,386 千円 (35.0%) 減少しています。

(1) 損害補償費

支払件数について種類別にみると、療養補償が 1,456 件 (損害補償費全体の 59.7%、前年度比△ 146 件 (△ 9.1%)) と最も多く、次いで、遺族補償の 661 件 (同 27.1%、同 △ 13 件 (△ 1.9%))、休業補償の 189 件 (同

7.8%、同△ 4 件 (△ 2.1%)) の順となっています。なお、この 3 種類で損害補償費全体の 94.6% を占めています。

次に、支払額について種類別にみると、遺族補償が 1,330,270 千円 (損害補償費全体の 72.5%、前年度比△ 89,409 千円 (△ 6.3%)) と最も多く、次いで、療養補償の 238,528 千円 (同 13.0%、同△ 50,364 千円 (△ 17.4%))、障害補償の 206,384 千円 (同 11.3%、同△ 7,376 千円 (△ 3.5%)) の順となっています。なお、この 3 種類で損害補償費全体の 96.8% を占めています。

なお、平成 25 年度に新たに支払った障害補償については、はしご登りの演技中に頂部から転落して脳挫傷等を受け、治癒後に高次脳機能障害を残したものなどがあり、遺族補償 (死亡事案) については、分団会議を終えて自家用車で帰宅途上に、自動車事故により死亡したものなどがありました。

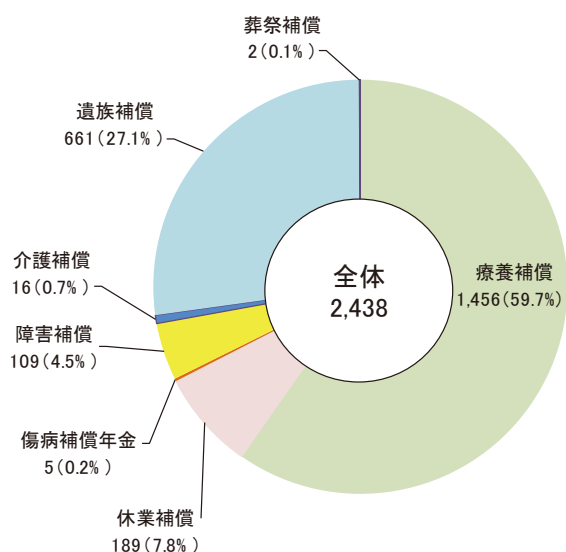


図 1 損害補償費支払件数 (単位: 件)

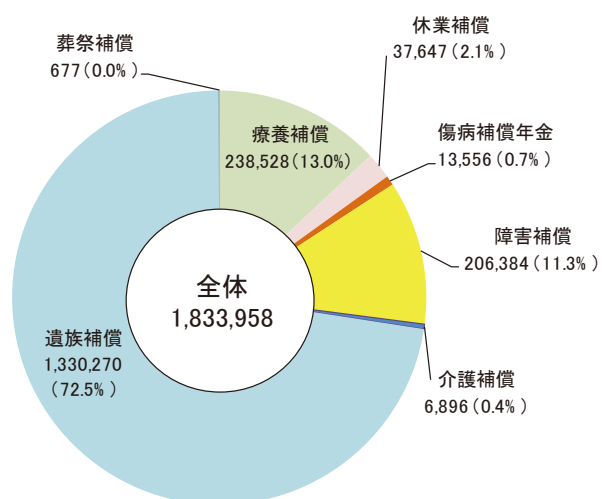


図 2 損害補償費支払額 (単位: 千円)

表 1 損害補償費における対前年度増減比較

区 分	増 減		主 な 要 因
	件 数	金 額	
療養補償	△146	△50,364	受給者減
休業補償	△4	△19,276	受給者減、平均支払額減
傷病補償年金	2	5,969	受給者増
障害補償	△1	△7,376	受給者減
介護補償	0	△204	平均支払額減
遺族補償	△13	△89,409	受給者減
葬祭補償	△13	△8,567	受給者減

(2) 福祉事業費

支払件数について種類別にみると、遺族特別給付金が565件（福祉事業費全体の55.2%、前年度比△9件（△1.6%））と最も多く、次いで、休業援護金の184件（同20.0%、同△3件（△1.6%））、障害特別給付金の105件（同10.3%、同+4件（+4.0%））の順となっています。なお、この3種類で福祉事業費全体の83.4%を占めています。

次に、支払額について種類別にみると、

遺族特別給付金の259,672千円（福祉事業費全体の53.2%、前年度比△17,128千円（△6.2%））と最も多く、次いで、障害特別援護金が60,450千円（同12.4%、同+49,800千円（+467.6%））、障害特別給付金の45,275千円（同9.3%、同+2,438千円（+5.7%））の順となっています。なお、この3種類で福祉事業費全体の74.8%を占めています。

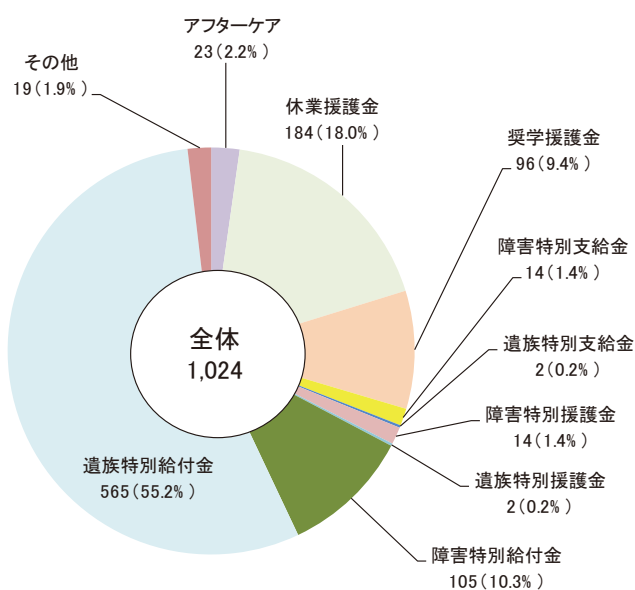


図 3 福祉事業費支払件数（単位：件）

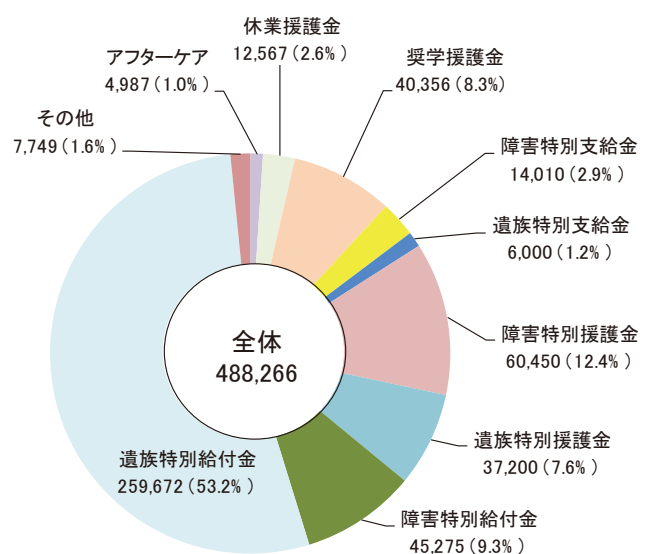


図 4 福祉事業費支払額（単位：千円）

表2 福祉事業費における対前年度増減比較

区 分	増 減		主 な 要 因
	件 数	金 額	
補装具	0	1,519	平均支給額増
リハビリテーション	1	435	受給者増
アフターケア	△1	△2,629	受給者減、平均支給額減
休業援護金	△3	△6,451	受給者減、平均支給額減
奨学援護金	△5	△2,448	受給者減
就労保育援護金	2	780	受給者増
傷病特別支給金	1	1,140	受給者増
障害特別支給金	7	11,300	受給者増
遺族特別支給金	△14	△42,000	受給者減
障害特別援護金	7	49,800	受給者増
遺族特別援護金	△14	△260,400	受給者減
傷病特別給付金	1	245	受給者増
障害特別給付金	4	2,438	受給者増
遺族特別給付金	△9	△17,128	受給者減
旅行費	△1	13	受給者減も、平均支給額増

2 最近5か年間における損害補償費等支払状況の推移

平成21年度から25年度までの年度毎の損害補償費及び福祉事業費の支払件数及び支払額の推移をみると、平成23年度については、平成22年度末に発生した東日本大震災に係る遺族補償と

その付加給付である遺族特別支給金、遺族特別援護金等の支払のため大きく増加しています。平成24年度以降についても、震災による遺族補償年金が加わったため平成22年度以前より支払件数、支払額とも増加しています。

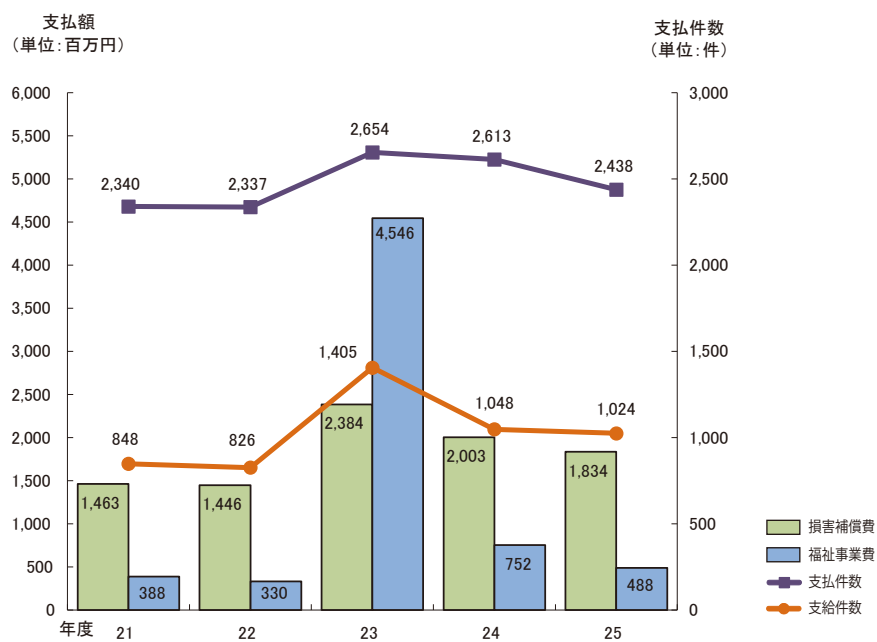


図5 最近5か年間の推移